

平成29年度事業 点検・評価調書

4- -4

4-
-4

章	第4章 世界遺産登録に向けた来訪者の受入体制整備	取組項目	島内の港から各遺跡や観光スポットまでのアクセス方法の確認・整備
節	・アクセスルートの整備・来訪者の誘導等		
事業(施策)名	4 島内アクセス方法情報提供	事業主体	佐渡市観光振興課
事業実施期間	H28～H34	関連団体	佐渡地域振興局地域整備部、佐渡市世界遺産推進課、佐渡市交通政策課、佐渡観光協会、佐渡汽船(株)、新潟交通佐渡(株)
事業概要	<p>【事業目的】</p> <p>島内の港から各遺跡や観光スポットまでのアクセス方法の情報提供を行うことにより、来訪者の円滑な移動を図る。</p> <p>【事業内容】</p> <p>島内の港から各遺跡や観光スポットまでのアクセス方法や運行状況、駐車場の混雑状況等について、船内アナウンス、インターネット等ICT活用、観光案内所での情報提供等により、情報機能の強化を図る。</p>		
⑨事業計画と実績	<p>【29年度計画】</p> <p>メイン観光パンフである「佐渡さんぼ」において県内主要箇所からのアクセス方法を表示する。 「佐渡さんぼ」を佐渡汽船内や新潟、直江津港待合所に配置する。 佐渡観光ナビでアクセス方法を表示する。</p> <p>【29年度実績】</p> <p>佐渡汽船や新潟交通、佐渡観光協会と連携し、佐渡さんぼに佐渡汽船航路ダイヤやレンタカー情報、バス路線情報を盛り込み60,000部作成した。 佐渡汽船内や待合室等、市内観光案内所、観光施設に「佐渡さんぼ」を配置した。 佐渡観光ナビでルート案内を「3港から」と「現在地から」で検索できる仕組みとした。</p>		
課題・今後の取組	<p>【課題】</p> <p>H31年予定の佐渡金銀山ガイド施設オープンに合わせて、相川までのアクセスルートに関する情報提供(周辺道路・駐車場の渋滞情報等)を充実する必要がある。 H28に整備した佐渡観光ナビでは、5言語(英語、韓国語、中国語<繁体・簡体>、ロシア語)とスマートフォン対応済みだが、ホームページの利用周知が必要である。</p> <p>【今後の取組】</p> <p>H28に整備した佐渡観光ナビのスマートフォンでの利用周知を図るためのPRを進める。</p>		
事業評価	<p>【事業の達成度】 (a ● b ● c)</p> <p>【事業実施の効果】 (a ● b ● c)</p> <p>【総合評価】 (A ● B ● C)</p> <p>当初計画したとおり、アクセス方法の情報を佐渡さんぼや佐渡観光ナビを使って提供した。パンフレットは観光案内所や佐渡汽船待合施設に配置するなど対応した。今後は引き続き情報更新に努めていく。</p>		

a: 進んでいる。高い。
b: 概ね順調。概ね適切。
c: 遅れている。低い。

A: 計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。
B: 概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。
C: 計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。